



Newsletter

2023年9月号

注目のニュース



WIPO 意匠法条約 - AIPPI は外交会議の準備に参加

Guillaume Henry, Second Deputy Reporter General

2024年には、WIPO 意匠法条約（DLT）が採択される見通しです。これにより、WIPO の条約（特許、商標、著作権）に意匠が加わり、すべて揃います。どのような内容で、AIPPI はどのような役割を果たすのでしょうか。

DLT とは？

WIPO では長年にわたり、既存の特許および商標の条約を補完する、意匠に関する新たな国際条約の策定に取り組んできました。

2022年7月、WIPO 総会において、この新たな条約を採択するプロセスを正式に開始することが決定されました。条約草案は[こちら](#)からご覧になれます。

DLT の目的

DLT の目的は、意匠法の一部、具体的には出願手続きやその他の事項のハーモナイゼーションを図ることです。例えば条約草案では、出願の様々な段階、出願公開、グレースピリオド、意匠出願書類の作成のしかた（例：意匠の表示、明細書、その他）、あるいは、登録簿にライセンスを登録する義務や、不遵守に対する制裁などに関する規定があります。

ただし、保護の範囲や有効性の条件のように、現時点で国家間の相違が大きすぎるテーマは対象としていません。

DLT 採択のプロセス

外交会議は 2024 年に開催されます。

WIPO、加盟国、政府間組織および NGO が、2023 年 10 月に 2 度開催されるミーティングで、外交会議の準備をします。

まず 10 月 2 日～6 日は、WIPO 商標・意匠・地理的表示の法律に関する常設委員会が、意匠法条約の内容を確定して採択するための外交会議に向けて、基本的提案を作成することを目的とした特別セッションを開催します。議事日程は[こちら](#)からご覧になれます。

続いて 10 月 9 日～11 日には、意匠法条約の内容を確定して採択するための外交会議の準備委員会が、ジュネーブの WIPO 本部で開催されます。その際に、外交会議の開催地も決定されます。議事日程は[こちら](#)からご覧になれます。

DLT は 2024 年に採択される見通しです。

DLT 採択のプロセスにおける AIPPI の役割

AIPPI は WIPO における常任の公認オブザーバーであり、このような外交会議や新たな意匠法条約採択における WIPO との連携は、歓迎されるべきことです。

AIPPI からは、Guillaume Henry (Second Deputy Reporter General) と、Chris Carani (Chair of the Standing Committee on Design) が参加します。

AIPPI では、条約草案に対し、より高いレベルのハーモナイゼーションを実現し、より実効性のあるルールを提案する上で、改善の余地がある点を示した、ポジションペーパーを作成しました。

また、意匠に関する AIPPI の決議は、AIPPI が外交会議において意見を主張する上で、非常に重要な根拠となるでしょう。

前述のポジションペーパーは、本部常設委員会「意匠」が、Reporter General Team (特に Guillaume Henry) と協力して作成しました。

無論、このポジションペーパーは、以下に挙げるものをはじめ、AIPPI が採択した意匠に関

する数多くの決議に基づいています。

2021年：工業意匠と先行技術の役割（議題 278）

2018年：部分意匠（カンクン総会）

2016年：意匠保護の要件（ミラノ総会）

1982年・1983年・1985年：意匠保護の法的・経済的な意義（議題 73 - モスクワ執行委員会、パリ総会、リオデジャネイロ執行委員会）

1964年・1966年：工業意匠及びひな型に関する法律の統一（議題 34 - ザルツブルク執行委員会、東京総会）

1960年：応用美術、意匠及びひな型の著作物に対する国際的な保護（議題 34 - ロンドン総会）ハーグ協定を見直すための専門家委員会が作成した草案について

各国の部会、議題委員会、そして全体会合において、これまで行われてきた膨大な作業の成果が、ポジションペーパーの作成や、外交会議において AIPPI としての意見を主張する際に、大いに役立つものであることは言うまでもありません。1960年以降の意匠に関する決議に関わられた会員みなさんに、感謝申し上げます。

10月3日～11日にジュネーブの WIPO 本部で開催される準備セッションの結果については、追ってお伝えします。

[続きを読む](#)

その他の最新情報

各議題の決議案に関する進捗状況

議題委員会のリーダーが9月初旬にミーティングを行い、今年の議題である「均等論」、「商標の使用の証明」、「著作権管理団体」、「インターネット上での侵害に対するマーケットプレイスの責任」に関する決議の原案が作成されました。

今後、9月末と総会での議題委員会を経て、全体セッションでは、決議の最終案が作成され、執行委員会 II で採決されます。

2023 年 AIPPI 国際総会で開催されるパネルセッションの録画

今年のイスタンブール総会に参加できない方もいらっしゃると思いますが、そのような方のために、一度限りの特別なお知らせです。

イスタンブール総会で開催されるパネルセッションを、録画でご覧いただけるようになりました。

この特別サービスを利用すれば、パネルセッションにおける有意義な議論や、一流の講師が伝える最先端の知識や貴重な知見を見逃すこともありません。職場やご自宅にしながら、好きな時間にアクセスして、有益な知識や情報を得ることができます。

そして何よりも、このすばらしいサービスが、なんと 500 ユーロで利用できるのです。

メールを registration@aippi.org へ送信するだけの簡単な手続きで、2023 年 AIPPI 国際総会の録画にアクセスできます。

Attendee Hub をダウンロードして総会の準備を - アプリの全機能を体験してください

2023 年 AIPPI 国際総会に参加されるみなさん、知識の海に浸り、交流し、業界のエキスパートから貴重な知見を得るための準備はできていますか。今回の総会は、2000 名以上が参加登録しており、きっと特筆すべきイベントになることでしょう。早く計画を立てたいという方もいらっしゃると思います。Attendee Hub をダウンロードして、プッシュ通知で最新情報を受け取れるようにしてください。

Attendee Hub は、閉会ディナーの座席表から、フロアマップ、有益な情報など、総会に関するあらゆることに、ワンストップで対応できるアプリです。特別な賞をもらえるチャンスがある Gamification Competition にもご参加ください。

詳細は[こちら](#)をご覧ください。

ダイバーシティ&インクルージョン委員会のご紹介

Lisa L. Mueller, Casimir Jones, S.C., USA



AIPPI 本部のダイバーシティ&インクルージョン (D&I) 委員会は、2022 年のサンフランシスコ総会後に設置され、世界各国の AIPPI 部会から選ばれた多様性のある委員で構成されています。

今年の前半には、ダイバーシティとインクルージョン (多様性と受容) に関する AIPPI 会員の意見をより正確に把握するための D&I 調査を実施しました。このアンケート調査の目的は、すべての会員を支援して、多様性と受容力のある社会を促進する上での AIPPI としての優先事項を理解することです。現在は、委員会のタスクフォースが、調査結果の最終的なレビューを進めており、結論と次なるステップに関する提言を含む最終レポートが近いうちに発表されます。委員会では、タスクフォースが示した結論と提言を参考にして、今後 2 年間の達成目標を設定します。この達成目標については、イスタンブール総会で概要を紹介する予定ですので、今後ご注目ください。

2023 年 AIPPI 国際総会スポンサーのご紹介

2023 年 AIPPI 国際総会の開催を可能にくださったスポンサー各位に、特別な謝意を表明します。みなさんの努力と献身は称賛に値するものであり、総会開催の後押しとなった、さまざまご厚意に感謝しております。

Thank you to our Sponsors

Platinum Sponsor	Gold Sponsors	Silver Sponsors
	 CCPIT PATENT & TRADEMARK LAW OFFICE	 GIDE CORPORATE INTELLECTUAL PROPERTY
Congress Sponsors		
 FEDERAL BAR ASSOCIATION	 ASSOCIATION OF BARRISTERS IN PATENT INTELLECTUAL PROPERTY	 AMAZON
 4C PATENT SYSTEMS	 DOROTHY	 EFOR PATENT
 IPOPILLOT	 IPQUANTS	 EQUINOX
 PATRIX IP HELPWARE	 STARKER IP III	 SCH-LEGAL
 ASIAIP INFORMED ANALYSIS	 STOCK	 FELLOWS AND ASSOCIATES
 XINLE CHUANMEI	 SUNIP	 FEVEA
 中国知识产权	 TURK PATENT	 GÜN + PARTNERS
 GLOBAL IP	 WANHUIDA	 HKTDCC
 WOMEN'S IP World	 WIPRO	 YALÇINER PATENT
 JUCE	 Wolters Kluwer	
 Patent Lawyer		
 TURKISH LAWLOG		
 WIP		

年次活動報告の紹介：トルコ部会

毎回、各国・地域の部会から提出された 2022 年の活動報告について、主なものを紹介しています。今回はトルコ部会です。

[続きを読む](#)

法制度・判例解説

ドイツ

2023 年 AIPPI 国際総会の議題に対するドイツ部会レポートの抜粋

Michael Schneider, Eisenführ Speiser, Germany



ドイツ部会は、知財関係の記事や、さらに大きな枠組みにおいても多くの寄稿をしています。本稿では、10月22日から25日にトルコのイスタンブールで開催の AIPPI 国際総会における、特許分野の議題「均等論」に対する部会としての主な見解を紹介します。

部会レポート全体としては、AIPPI の比較法に基づく決議プロセスに沿って、ドイツの制定法・判例法に基づく当該分野における運用の解釈論としての包括的概要と、さらなるハーモナイゼーションに関する考察や立法論的な提案を示しています。

[続きを読む](#)

インド

宇宙産業のビジネスチャンスを探る

Manisha Singh and Shivi Gupta, LexOrbis, India

インドにおける宇宙産業の成長は、技術的な進歩や革新を示すものであり、わが国を宇宙ビジネスの先進国に押し上げてきました。1969年に設立されたインド宇宙研究機関（ISRO）は、過去10年間にも重要な足跡を残してきましたが、2023年8月23日は、世界で4番目に月面着陸に成功した国になるという、インドの宇宙開発において歴史的な日となりました。また、このチャンドラヤーン3号の着陸成功により、未踏の地であった月の南極に着陸した唯一の国にもなりました。

[続きを読む](#)



インド

G20 首脳宣言と知的財産

Vikrant Rana, SSRANA & Co, India



G20 サミットでは、国際社会においてインドが果たす役割が称賛され、インドがいかにして最も求められる国の一つになったかについても紹介されています。国中が G20 サミット成功の余韻に浸る中、この [G20 ニューデリー首脳宣言](#) にも、ぜひ注目していただきたいと思っています。

前文（段落 31）では、知的財産の保護、特に、生きている遺産の過剰な商業化や盗用が持続可能性や実践者、共同体の担い手および先住民族の生活に及ぼす影響からの保護について述べています。

[続きを読む](#)

イタリア

レコード：公正な対価を受ける権利が生ずる場合

Cecilia Trevisi, Sofiae – Solidoro, Finulli & Partners, Italy

ローマ地方裁判所判決第 12101/2023 号 - 2023 年 8 月 4 日公開

レコード製作者の適格性と公正な対価に関する判決

本件は、音楽作品製作の委託契約における、レコード製作者の適格性と、その結果として生じる公正な対価を受ける権利に関する裁判です。

判決は、レコードに関して生じる権利に限定され、判例法における音楽作品の著作者に関する側面は除外されています。

[続きを読む](#)

日本

G-SHOCK が国産腕時計初の立体商標登録 - 腕時計の形状が立体商標として初めて登録される

窪田法律事務所 加藤ちあき

カシオ計算機が出願していた G-SHOCK 腕時計の形状が、立体商標として 2023 年 6 月 26 日付で特許庁に登録されました（登録番号 第 6711392 号）。

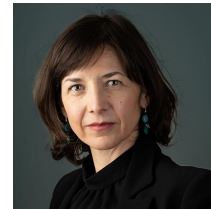
[続きを読む](#)

ヨルダン

知的財産庁に関する最新情報

Firas Qumsieh, NJQ & Associates, Jordan

カイロ - 供給・国内通商省は、省令 2022 年 No.163 により、エジプ



ト知的財産庁（EAIP）の設置を発表しました。

2022年8月6日付の公報 No.31(B)に記載された同省令によれば、EAIP は、発表日から1年以内、すなわち2023年8月6日までに、組織編成され業務を開始するとされています。

EAIP は、供給・国内通商省が管轄していた商標、工業意匠および工業モデルに対する知的財産全般の管理をすべて引き継ぎ、その役割を果たします。また、知的財産に関するあらゆるやり取りに対応するとともに、新たな出願、更新、登録等における出願人・代理人の窓口になります。

[続きを読む](#)

フィリピン

特許審査における明確性ガイドライン

Maria Sophia Editha C. Cruz-Abrenica, Villaraza and Angangco, Philippines



フィリピン知的財産庁（IPOP HL）は、2022年に特許出願における明確性ガイドラインを発行しました。このガイドラインは、審査官が知的財産法に定めるクレームの明確性を判断する際の目安として使用するものです。

発明の範囲をはっきりさせるため、クレームは明確かつ簡潔なものであることが重要です。また、発明のクレームは、保護の範囲を画定するものであるため、明確性は、特許出願において最も重要な問題です。

[続きを読む](#)

タイ

仮想世界におけるブランド保護の制度

Nont Horayangura & Metas Sansuk, Baker McKenzie, Thailand

企業やブランド所有者には、仮想世界がもたらす巨大なビジネスチャンスがあり、彼らは先んじて自らのブランドを優位に立たせたいと強く望んでいます。こうした仮想世界に対する関心の高まりや、ブランド所有者の権利保護に対応するため、タイでは、仮想世界における商標やサービスマークを対象とした保護制度が設けられました。以下で詳しく説明します。



[続きを読む](#)

各国部会

フィンランド部会

ヘルシンキ知的財産サミット - AIPPI フィンランド部会と IPR University Center による共催

Eero Sikow, Roschier, Finland



AIPPI フィンランド部会が、IPR University Center と共同で、国際的な知的財産イベントを開催します。このヘルシンキ知的財産サミットは、10月4日・5日に行われ、オンラインと対面（会場：Helsinki Congress Paasitorni）のどちらでも参加できます。UPC、AI、SEP等、知的財産に関連するホットなテーマを取り上げます。フィンランド部会としては5日に、「データとAI」というプログラムを主催します。

詳細および参加登録は[こちら](#)から。

日本部会

英文ジャーナル『A.I.P.P.I.』最新号 (Vol 48, No.4)

阿部正俊

日本部会の英文ジャーナル『A.I.P.P.I.』の最新号 (Vol 48, No.4) が、お読みいただけるようになりました。今号の目次を載せたのでご覧ください。

日本部会では、我が国の知的財産制度に関する情報を海外へ発信するため、英文の隔月誌『A.I.P.P.I.』を 1965 年より発行してきました。

AIPPI 会員であれば、各号のすべての内容をオンラインで閲覧可能です (ダウンロードや印刷はできません)。世界各国の多くの会員の皆様に興味を持っていただければ幸いです。

バックナンバーは、AIPPI ウェブサイトの会員ページの「Member Info」にある「Dashboard」からアクセスできます。

A.I.P.P.I.	
Bimonthly Journal of International Association for the Protection of Intellectual Property of Japan (AIPPI JAPAN) Vol. 48 No. 4 2023	
CONTENTS	
JAPANESE GROUP REPORTS	
Study Reports of the Japanese Group of AIPPI on Questions to be Studied at the AIPPI World Congress in Istanbul	177
Study Question Q284 Doctrine of equivalents By KATSUNUMA Hirohito, IMAI Masano	178
Study Question Q285 Proving Trade Mark Use By KUBOTA Etsukuro, AOKI Hirofumi	193
Study Question Q286 Collecting societies By ERATA Naoko, MONYA Takatoshi	216
Study Question Q287 Responsibility of online marketplaces for online infringement of Industrial Property Rights By YABE Kozo, SUEYOSHI Tsuyochi	226
Questionnaire (Pharm) Experimental use as a defence to patent infringement By NAKAJIMA Masaru, KOMAZANI Takashi	241
IP CASE SUMMARIES By AIPPI · JAPAN	246

今後の行事

2024 年 AIPPI Spring Meeting のお知らせ

2024 年 2 月 22、23 の両日に開催される AIPPI Spring Meeting を、ぜひスケジュールに入れておいてください。開催予定地は、訪れる人々を魅了するスペインの首都マドリードです。おしゃれな並木道や、広大で緑豊かな公園があるこの街で、みなさんとお会いできるのを心待ちにしています。詳細は追ってお伝えします。



第 22 回 ASIPI 総会に AIPPI が出展

ASIPI

米州知的財産協会（ASIPI）の第 22 回総会が、12 月 3 日～6 日にメキシコシティで開催されます。この地域の知的財産に関する最新の動向を知り、産業界のリーダーとも交流できる機会です。

AIPPI 会員のみなさんには、AIPPI と ASIPI の協力による特典があります。AIPPI 会員として参加登録すると、一回限り ASIPI 会員と同じ料金で参加できます。早期割引は、10 月 3 日まで有効です。AIPPI のブースにも、お越しください。



詳細は[こちら](#)をご覧ください。参加登録は secretaria@asipi.org まで、メールでお願いします。

©2022 AIPPI. All Rights Reserved.

<http://www.aippi.org/>

Toedistrasse 16, 8002 Zurich, Switzerland

免責事項：

AIPPI は伝達する情報の正確性を期すべくあらゆる努力をしていますが、これらの情報は、特定の資格を有する専門家の助言に代わるものとみなされるものではありません。AIPPI は、インタビューで表明された意見やウェブの外部リンクを介して提供される情報に対しては一切責任を負いません。